

春が来る

窓を開け。窓を開け。汚れたガスを出すためばかりでなく、暖い日光と、軟い空気と、かぐわしい花の香りと、にぎやかな小鳥の歌とを迎え入れるために。そして春を幼稚園一ぱいに漲もたらせるために。

○ 黒い重いストーブは取片づけられた。序ついでに冬らしい一切の名残りを取除けよ。壁を払え、床を洗え、額の絵も取りかえよ。隈棚の装飾も取りかえよ。そして、春を春らしく迎えることを忘れるな。

○ 春が来る。どこから来る。垣根を越えてブランコの上からも来る。籬かきに沿って草からも来る。砂場の砂の日影からも来る。子供たちをしてこの春を迎えしめよ。この春に親しましめよ。遊園へ遊園へ春の遊園へ。

(倉橋惣三選集 第二卷より)